

みんなの健康ラジオ

『膝の痛みに対する新しい治療法
PRP療法とPDFFD療法について』

(2025年11月27日放送)

横浜市整形外科医会

(医)研医会二宮整形外科皮膚科

二宮 研

変形性膝関節症

- 加齢により膝の軟骨が減り、痛みを起こす身近で重要な疾患。
- 運動療法や体重管理、物理療法、装具や薬の使用などの保存療法が中心だが、効果が乏しい場合には手術を検討。
- 手術は入院や体への負担を伴い、新しい保存療法の登場が期待されていた。



関節鏡手術



骨切り術



人工関節置換術

膝の手術

日本整形外科学会ホームページより

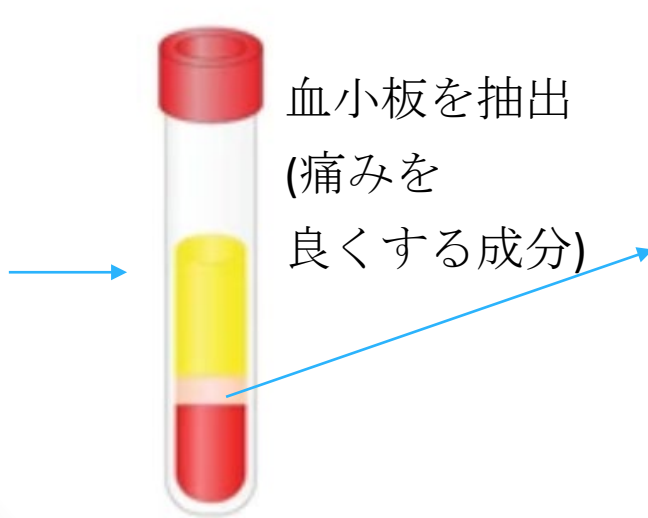
PRP療法とは



採血



遠心分離



血小板を抽出
(痛みを
良くする成分)



PRP製剤



膝に注射

PRP療法の問題点

PRP療法

- 膝の変形が進んでいる場合には効果が出にくい。
- 自由診療のため、患者さんの負担額が大きい。
- 院内に遠心分離機という特殊な機械が必要。
- 国への申請が必要。

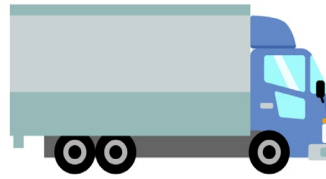


治療法としての普及には限界があった。

PDFFD療法とは



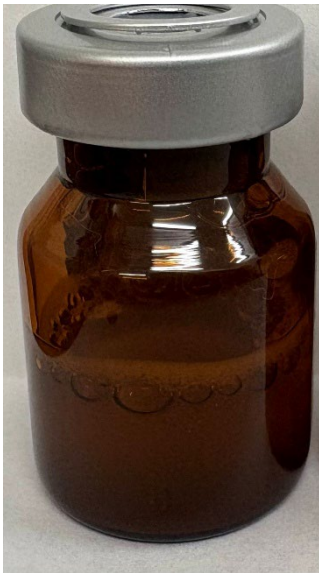
採血



搬送



PDFFD製剤に加工



PDFFD製剤



膝に注射

PDFFD療法の特徴

- 従来のPRP療法よりも多くの成長因子を含んでおり、痛みの改善効果が高いという報告がある。
- 細胞を含まないため、安全性が高いという報告がある。
- フリーズドライ加工されており、長期保存が可能で、必要なときに高品質な状態で使える。
- 国への申請や特別な機器の導入が不要で、医療機関にとって取り入れやすい。
- 自由診療のため患者さんの費用負担が大きく、膝の変形が進んでいる場合には効果が出にくいという課題もある。

当院では2023年より変形性膝関節症にPDFFD療法を導入しており、従来の保存療法で効果を得られなかった患者さんから、症状が和らいだという声をいただいている。今後新しい治療方法としてさらなる発展が期待されます。